

# 東京都母体救命搬送システムによる搬送事案

資料 6 - 1

平成21年3月25日～12月10日

	時間等			母体	搬送の状況				診断後 程度	傷病名等	転帰
	月	発生時 時間帯	入院までの 時間(分)		要請内容	搬送の種類	受入医療機関	病院選定 事由			
1	5	5:00	45分程度	40歳代 39週	自宅で倒れている	一般通報 (自宅)	スーパー総合周産期センター	直近病院	重篤	痙攣重積発作	母退院 児退院
2		13:00	45分程度	30歳代 40週	硬膜下出血の疑い	転院搬送 (病院)	スーパー総合周産期センター	当番病院	中等症	硬膜下出血の疑い	母退院 児退院
3		14:00	40分程度	30歳代 褥婦	軽い意識消失、呂律障害 脳出血の疑い	転院搬送 (診療所)	総合周産期母子医療センター	直近病院	中等症	母体高血圧脳症	母退院 児健康
4		4:00	45分程度	20歳代 22週	急な頭痛 嘔吐	転院搬送 (診療所)	周産期連携病院	直近病院	重症	脳動脈瘤破裂	母退院 妊娠継続
5	6	15:00	45分程度	30歳代 24週	練炭を居室内で燃やした	一般通報 (自宅)	スーパー総合周産期センター	直近病院 当番病院	重篤	一酸化炭素中毒	母退院 妊娠継続
6		19:00	50分程度	30歳代 26週	常位胎盤早期剥離 胎児死亡、子宮内出血	転院搬送 (病院)	地域周産期母子医療センター	直近病院	重症	常位胎盤早期剥離	母退院 胎児死亡
7	7	22:00	45分程度	30歳代 31週	頭痛 半身と顔面のしびれ	一般通報 (自宅) 転院搬送	救命救急センター (その後、総合周産期母子医 療センターに転院)	直近病院	重症	脳梗塞	母退院 妊娠継続
8		9:00	55分程度	30歳代 産褥	産褥出血多量	転院搬送 (助産所)	スーパー総合周産期センター	直近病院 当番病院	中等症	産褥出血多量 (低位胎盤)	母退院 児健康
9		12:00	25分程度	30歳代 産褥	肺塞栓の疑い 心肺停止	転院搬送 (診療所)	総合周産期母子医療センター	直近病院	重篤 (心肺停止)	肺塞栓	母死亡 児健康

	時間等			母体	搬送の状況				診断後 程度	傷病名等	転帰
	月	発生時 時間帯	入院までの 時間(分)		要請内容	搬送の種類	受入医療機関	病院選定 事由			
10	8	0:00	30分程度	20歳代 39週	頭痛、吐き気、左下肢麻痺	一般通報 (自宅)	救命救急センター	直近病院	重症	脳出血	母転院 児退院
11		7:00	50分程度	30歳代 27週	胸背部痛、呼吸苦	一般通報 (自宅)	スーパー総合周産期センター	当番病院	中等症	胸背部痛	母退院 妊娠継続
12		11:00	40分程度	30歳代 8週	腹痛 下痢	一般通報 (自宅)	総合周産期母子医療センター	直近病院	重症	子宮外妊娠 腹腔内出血 出血性ショック	母退院
13		5:00	45分程度	20歳代 36週	前頭部痛、嘔吐	転院搬送 (病院)	周産期連携病院	直近病院	重症	骨盤位 くも膜下出血⇒ ウィルス性髄膜炎	母退院 児退院
14		10:00	45分程度	30歳代 37週	腹痛 出血	一般通報 (自宅)	地域周産期母子医療センター	直近病院	重篤	常位胎盤早期剥離	母退院 胎児死亡
15		18:00	45分程度	20歳代 37週	脳出血の疑い	転院搬送 (診療所)	周産期連携病院	直近病院	中等症	意識消失	母退院 児健康
16		7:00	30分程度	30歳代 産褥	院内ベッド脇で倒れている、意識消失	転院搬送 (診療所)	総合周産期母子医療センター (スーパー総合周産期センター)	当番病院 直近病院	重篤	意識障害⇒脳出血	母転院 児健康
17		15:00	40分程度	30歳代 産褥	弛緩出血	転院搬送 (診療所)	総合周産期母子医療センター (スーパー総合周産期センター)	当番病院 直近病院	重篤	出血性ショック、 DIC、子宮頸管裂傷、弛緩出血	母退院 児健康
18	19:00	60分程度	30歳代 産褥	産後の出血	転院搬送 (病院)	総合周産期母子医療センター (スーパー総合周産期センター)	当番病院 直近病院	重篤	弛緩出血、膣壁から後腹膜血腫	母退院 児健康	

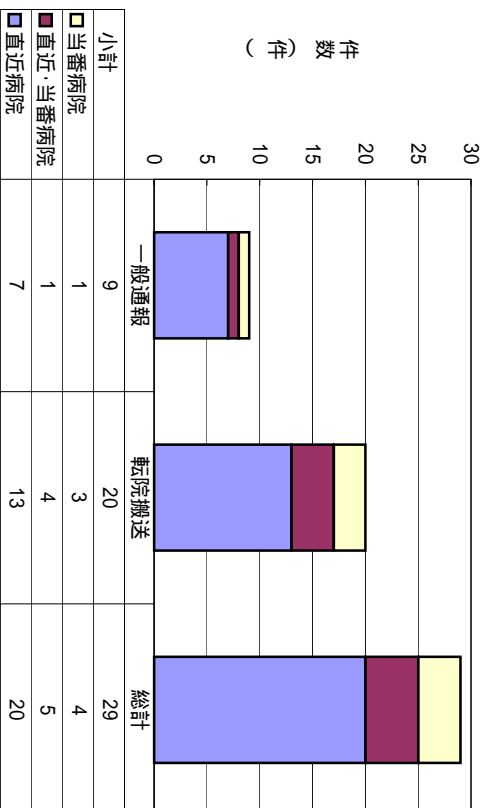
	時間等			母体	搬送の状況				診断後 程度	傷病名等	転帰
	月	発生時 時間帯	入院までの 時間(分)		要請内容	搬送の種類	受入医療機関	病院選定 事由			
19	9	7:00	25分程度	30歳代 産褥	生まれたベビーが泣かない	一般通報 (自宅)	救命救急センター	直近病院	重症	墜落分娩後ショック	母退院 児退院
20		19:00	60分程度	20歳代 21週	性器不正出血、卵巣腫脹	転院搬送 (診療所)	スーパー総合周産期センター	当番病院	中等症	切迫流産	母退院 妊娠継続
21		3:00	50分程度	30歳代 35週	前期破水	転院搬送 (病院)	スーパー総合周産期センター	当番病院	中等症	切迫早産	母退院 児退院
22		16:00	45分程度	30歳代 産褥	産後出血多量、意識消失	転院搬送 (病院)	スーパー総合周産期センター	直近病院	重篤	産後出血性ショック⇒多臓器機能障害(死亡)	母加療後死亡 児退院
23	10	6:00	65分程度	20歳代 産褥	血圧上昇、頭痛、脳出血の疑い	転院搬送 (診療所)	総合周産期母子医療センター	直近病院	重症	子癇発作	母退院 児健康
24		11:00	55分程度	20歳代 産褥	肺塞栓の疑い	転院搬送 (診療所)	地域周産期母子医療センター	直近病院	重篤	肺血栓・塞栓症の疑い	母退院 児健康
25		23:00	30分程度	30歳代 産褥	弛緩出血	転院搬送 (病院)	総合周産期母子医療センター	直近病院	重篤	弛緩出血・出血性ショック・DIC	母退院 児退院
26	11	12:00	40分程度	30歳代 産褥	分娩後出血多量	転院搬送 (診療所)	総合周産期母子医療センター	直近病院	重篤	膣壁血腫、DIC、出血性ショック	母退院 児退院
27		0:00	40分程度	30歳代 19週	腹・腰部の激しい痛み	一般通報 (自宅)	総合周産期母子医療センター	直近病院	重篤	双角子宮・子宮破裂・出血性ショック・DIC・羊水塞栓疑い	母死亡 児死亡

	時間等			母体	搬送の状況				診断後 程度	傷病名等	転帰
	月	発生時 間帯	入院までの 時間(分)		要請内容	搬送の種類	受入医療機関	病院選定 事由			
28	11	3:00	35分程度	30歳代 39週	意識障害、高血圧、胎盤 早期剥離疑い	転院搬送 (診療所)	周産期連携病院	直近病院	重篤	心肺停止 (原因不明)	母死亡 児死亡
29		11:00	30分程度	30歳代 37週	胎盤早期剥離	転院搬送 (診療所)	総合周産期母子医療センター	直近病院	重篤	胎盤早期剥離	母退院 児退院
30	12	2:00	40分程度	30歳代 17週	呼吸障害、意識障害	一般通報 (自宅)	総合周産期母子医療センター	当番病院	重篤	羊水塞栓症	母退院 妊娠継続
31		9:00	35分程度	20歳代 産褥	弛緩発作	転院搬送 (診療所)	周産期連携病院	直近病院	中等症	弛緩発作	母入院 児健康
32		21:00	30分程度	30歳代 18週	低血糖発作、意識障害	一般通報 (自宅)	スーパー総合周産期センター	直近病院 当番病院	重篤	低血糖発作、意識 障害	母退院 妊娠継続
33		16:00	30分程度	40歳代 産褥	帝王切開後、DIC出血 性ショック	転院搬送 (病院)	スーパー総合周産期センター	直近病院	重篤	帝王切開後、DIC 出血性ショック	母入院 児健康
34		0:00	50分程度	30歳代 産褥	悪寒、子癇発作の疑い	一般通報 (自宅)	総合周産期母子医療センター	直近病院	重症	子癇発作の疑い	母退院 児健康
35		11:00	30分程度	30歳代 38週	動悸、不整脈、ST低 下、ショック状態	転院搬送 (診療所)	周産期連携病院	直近病院	中等症	発作性上室頻拍	母入院 妊娠継続
36		22:00	50分程度	30歳代 24週	常位胎盤早期剥離	転院搬送 (病院)	スーパー総合周産期センター	当番病院	重篤	虫垂炎破裂 腹膜炎	母転院 妊娠継続

## 東京都母体救命搬送システムによる搬送事案（分析結果）

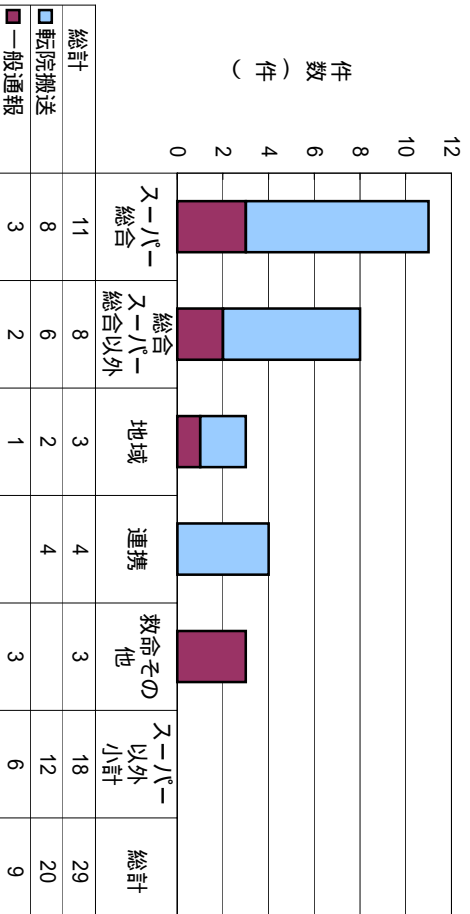
平成21年3月25日～11月30日 29件

## 1 搬送の種類



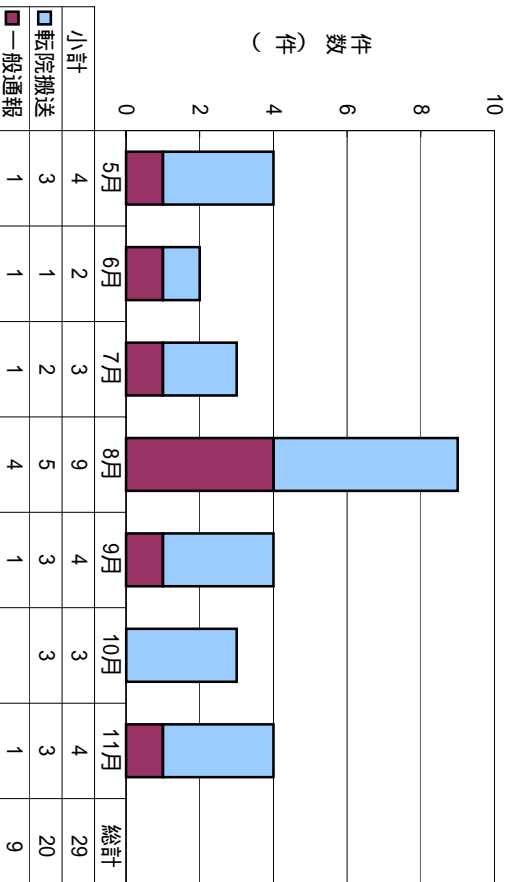
一般通報が9件、転院搬送が20件で、転院搬送が一般通報の約2倍である。  
 一般通報のほとんどが直近病院に搬送されており、転院搬送も半数以上が直近病院（当番含む）に搬送されている。  
 なお、この直近病院には、第一当番以外のスーパージェネラルセンターに搬送された事案も含まれる。

## 2 病院の種類



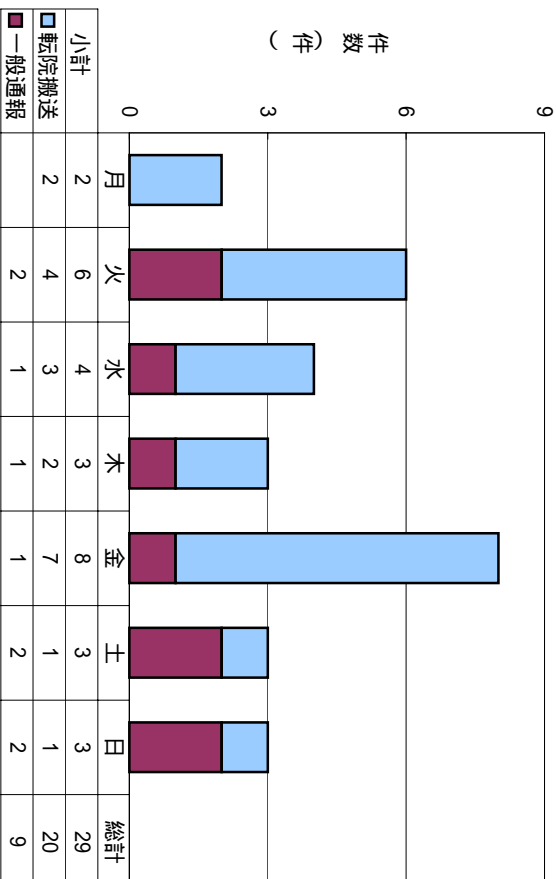
スーパージェネラル3病院には、転院搬送では8件、一般通報では3件、計11件が搬送された。  
 また、救命救急センターや第一当番先産科センターとなっている周産母子医療センター、周産期連携病院には、転院搬送12件、一般通報6件が搬送された。

## 3 月別（搬送の種類）



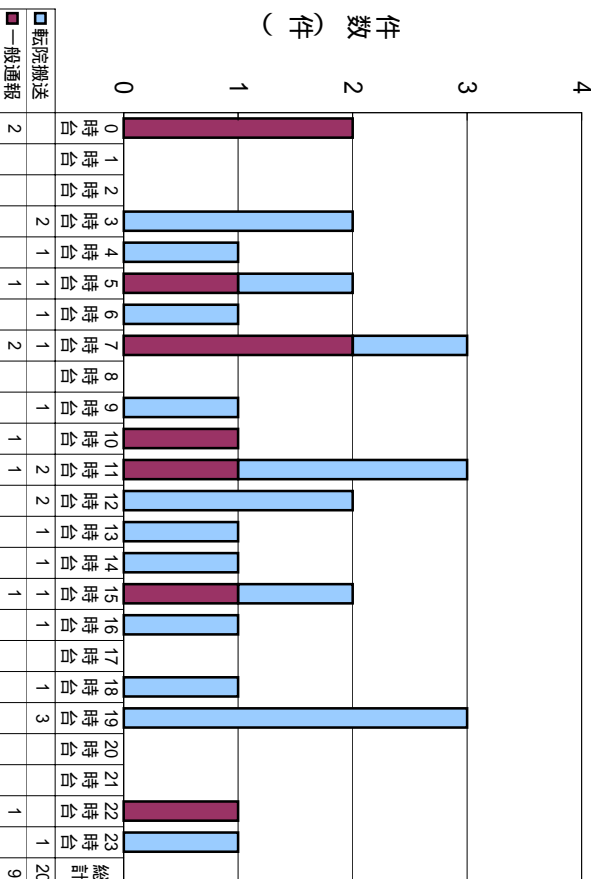
3月25日から運用したが、3月及び4月は事案はなく、5月以降から事案が報告された。  
 8月のスーパージェネラル搬送が多かった。どの月も半数以上が転院搬送であり、10月は、一般通報はなかった。

#### 4 曜日別（搬送の種類）



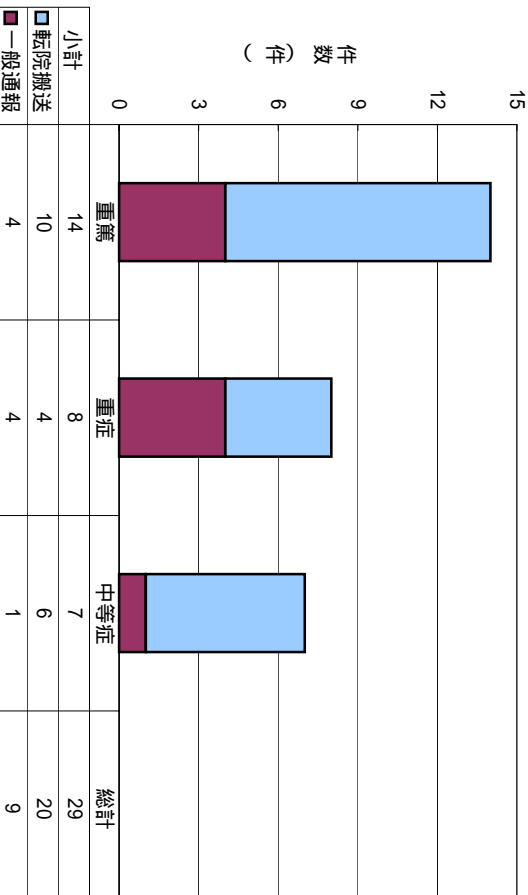
全曜日の転院搬送が最も多く、ついで、曜日の転院搬送が多い。一般通報では、曜日によって大きな差はなかった。

#### 5 時間別



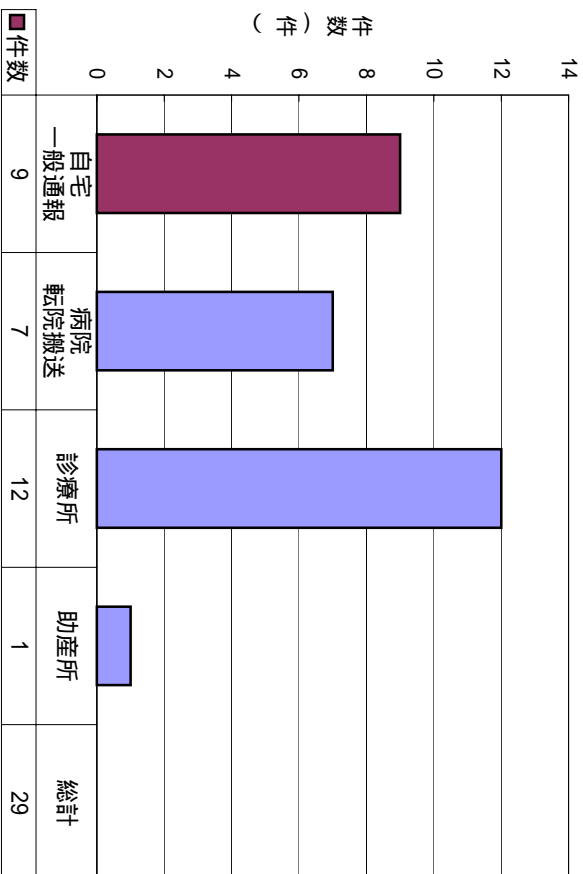
覚知の時間別では、転院搬送では、3時過ぎの早朝から23時台までといった広範の時間帯にわたっている。一般通報では、夜中や明け方の時間帯も多い。

#### 6 重症度（病院報告）



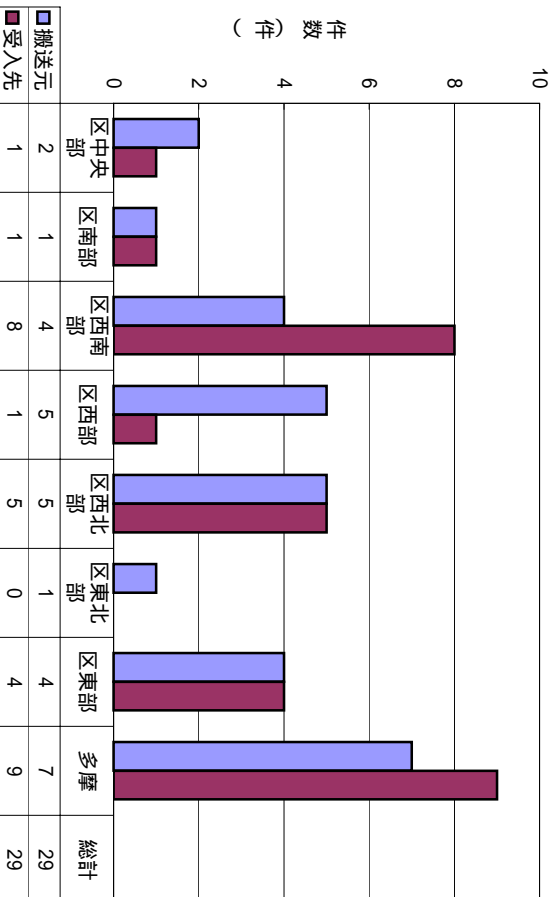
病院で確定診断が出ているからの重症度では、重篤が14件、重症が8件であり、29件中22件がスーパ-母体救命に相当すると考えられる。重症の症例では一般通報と転院搬送の件数で大きな差はなかったが、重篤又は中等症では転院搬送の事例が多かった。

## 7 搬送元医療機関等



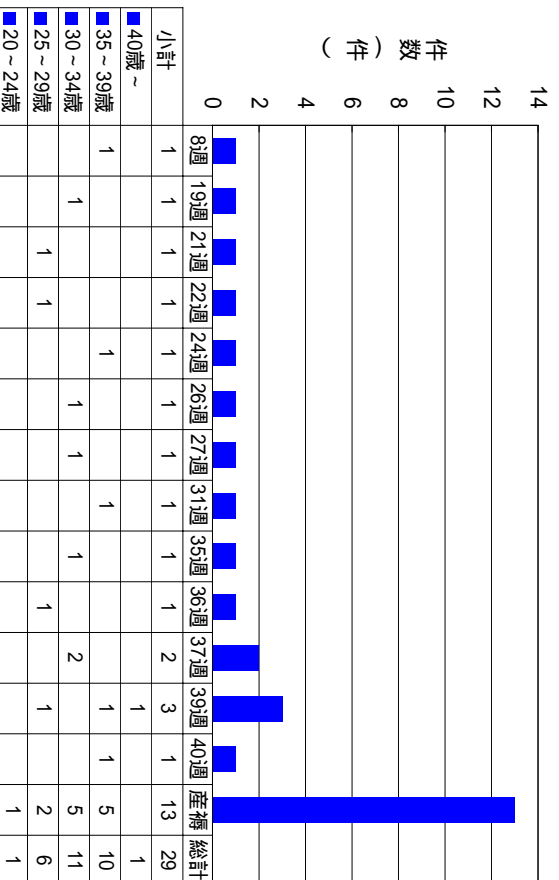
一般通報はすべて自宅からの搬送である。転院搬送では、病院や診療所からの搬送が多く、助産所からは1件であった。

## 8 フロック別搬送元及び搬送先



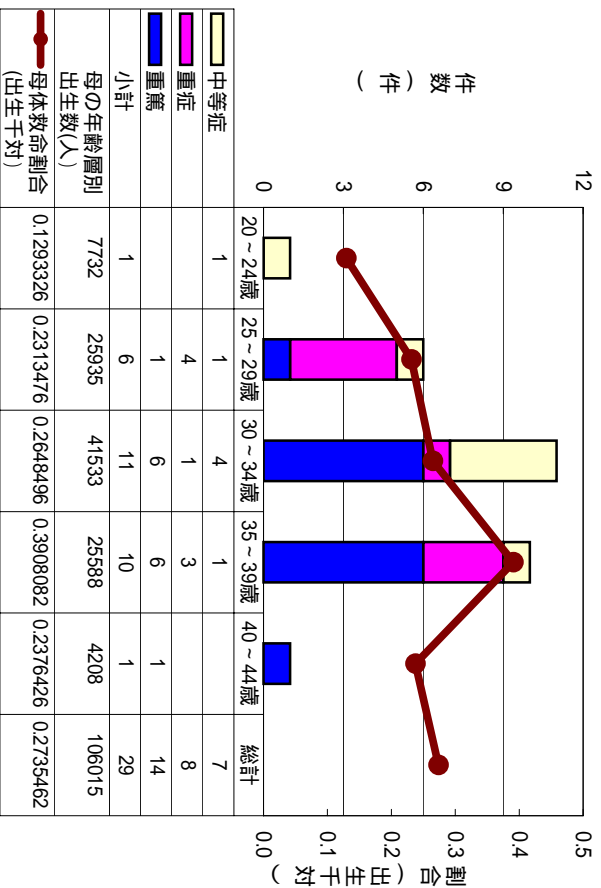
発生は、多摩部が最も多い。搬送元は、区西南部が多い。多摩フロックからは区部のフロックからの搬送を受入れている。区西部では、搬送元となる事案が多く、区南部や区東北部は搬送元となるケースは少ない。

## 9 週数



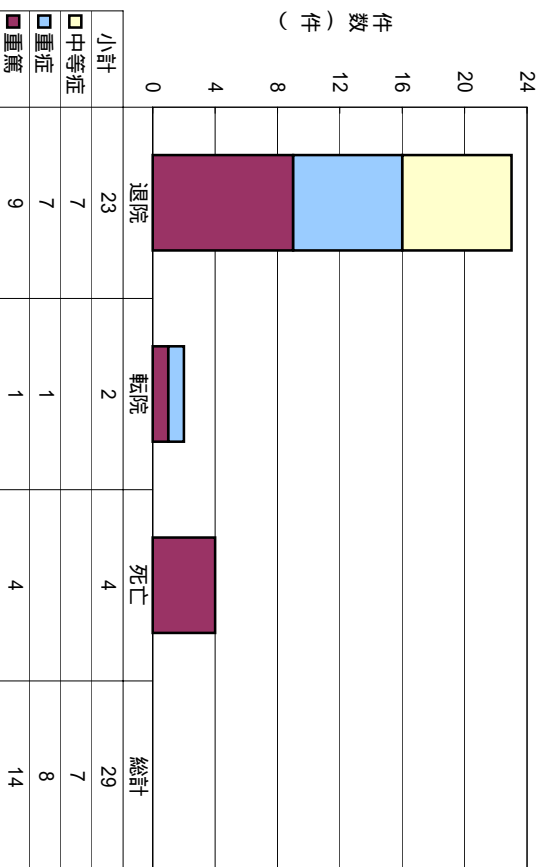
産褥が13例で最も多く、37週以上は6例であった。22週以上37週未満が7例、22週未満が3例あった。週数の少ない母体もあり、児がNICUを必要とする事例もある。なお、8週は子宮外妊娠であった。

## 10 母の年齢(重症度別)



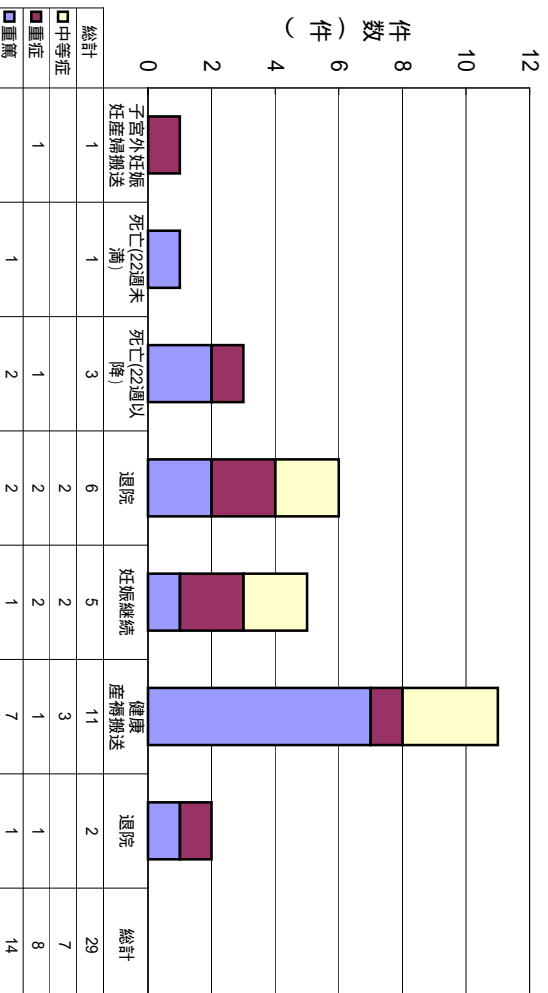
30歳代後半や40歳代といった年齢が高いほうが、重篤・重症の例が多い。  
母の年齢層別出生数から見ると、30歳代後半のスーパー母体搬送が、出生数千対0.39と最も多い。  
なお、年齢別出生数は、平成20年人口動態統計の数値である。

## 11 母の転帰(重症度別)



退院が23例と最も多かった。  
2例が転院し、重篤のうち4例が死亡した。

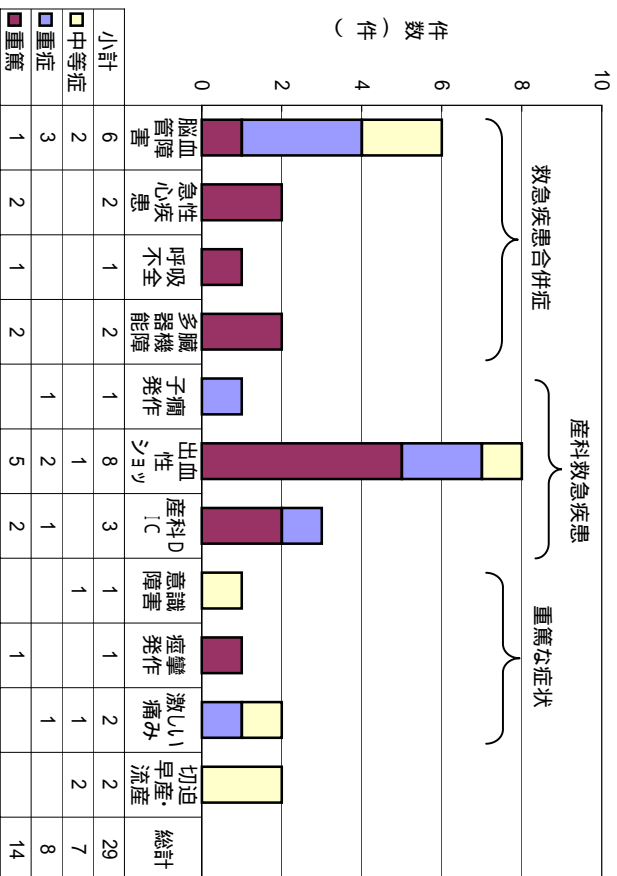
## 12 児の転帰



産褥の搬送が多いことから、前医療機関等で娩出後、児が健康という事例が11例あった。  
母が重篤又は重症であったても、児は退院・妊娠継続した事例が多い。  
一方で、胎児死亡となった事例が4例あった。  
なお、10週未満の胎芽も児として掲載した。



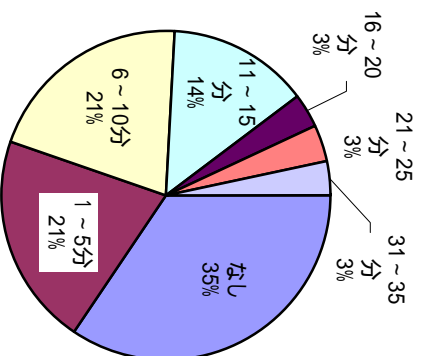
### 13 スーパー母体救命対象症例別疾患（診断後）



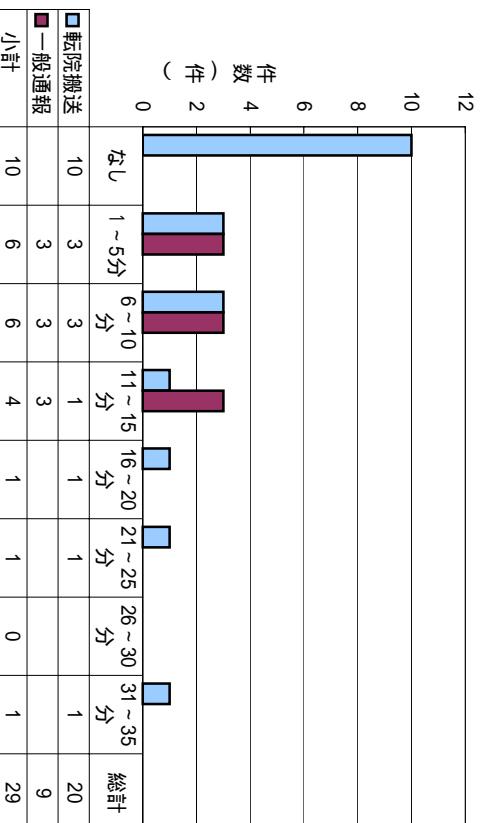
入院後診断された疾患名では、出血性脳血管障害が多ク、これらは重篤や重症の事例が多い。では、脳血管障害、急性心疾患、多臓器機能障害といった、救急疾患シヨックが多かった。

### 14 病院選定時間（平均11分、選定なし含まず）

（割合）



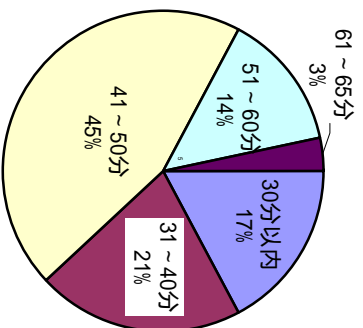
（分布）



病院選定時間の多くは15分以内であった。すでに搬送先が決定していた事案を除く選定に要した時間は、平均11分であった。

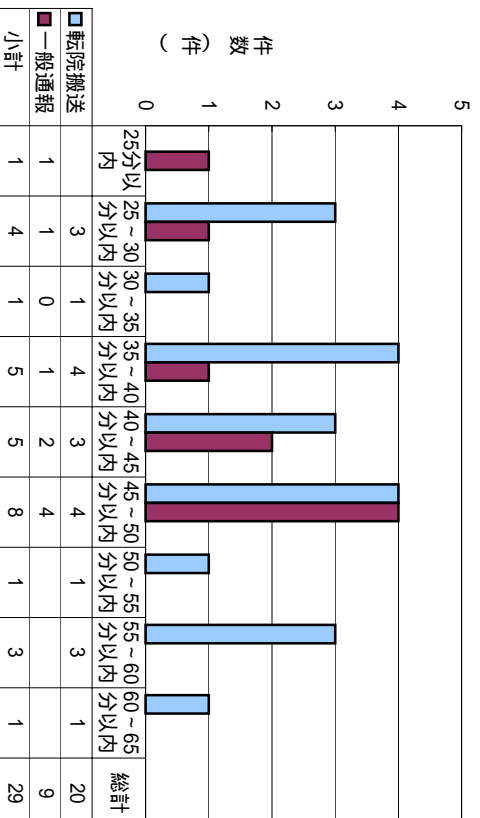
15 入院まで(覚知～病着)の時間 (平均4.3分)

(割合)

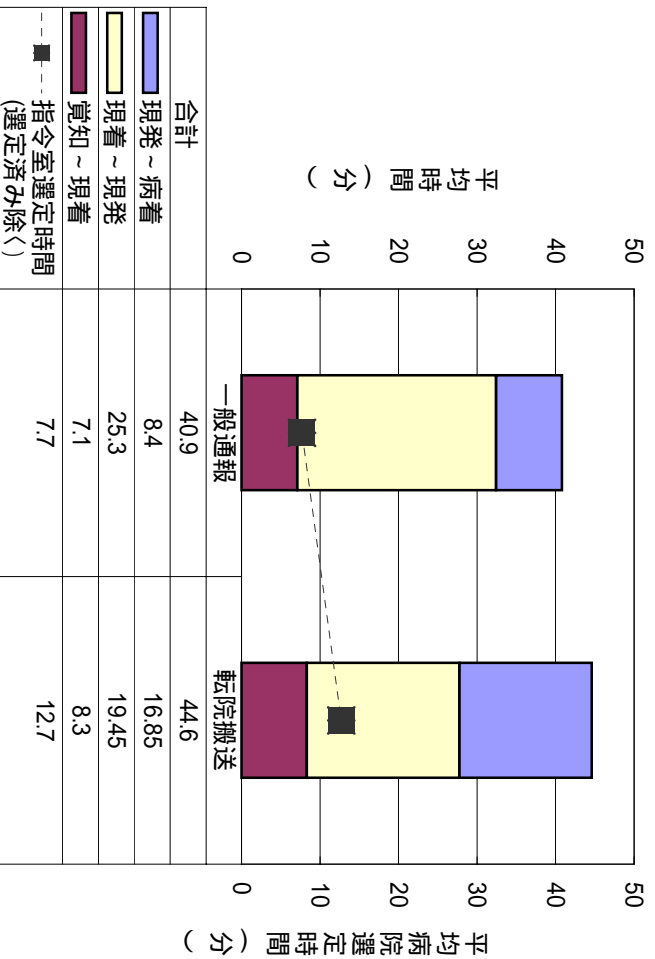


覚知から病着までの時間の多くは50分以内であった。ただし、転院搬送で60分を超えるものもあった。  
時間を要した理由は、処置中であったり、医療機関間同士の連絡のためであった。

(分布)



16 搬送(覚知から病着まで)の平均時間と病院選定平均時間



搬送時間と指令室での病院選定時間を見るのと、転院搬送では一般通報に比べ、現場での時間が短い一方、現場から病院までの搬送時間が長くなる傾向がある。転院搬送では、すでに搬送先病院が決定している場合は指令室での選定時間がないが、選定をしたものについて、病院決定まで平均13分程度となっている。

## 東京都母体救命搬送システム検証部会における確認事項

項目	検証部会における意見・確認事項
① スーパー母体搬送の搬送要請手順について	<ul style="list-style-type: none"> <li>分娩を取り扱わない施設も含め一次医療機関に対して、再度、母体救命搬送システム及び周産期搬送コーディネーターについての周知を図る。</li> </ul>
② 結果的にスーパー母体救命に相当すると判断された事案の報告について	<ul style="list-style-type: none"> <li>可能な限りの報告いただけるよう、周産期母子医療センター、周産期連携病院、救命救急センター等に対し、再度依頼する。</li> </ul>
③ 搬送要請に対する受入可否の回答について	<ul style="list-style-type: none"> <li>周産期母子医療センター、周産期連携病院、救命救急センター等に対して、院内連絡体制をスムーズにし、なるべく早く回答して頂ける様、依頼する。</li> </ul>
④ 搬送受入に関する調査票の内容について	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査すべき項目を改めて検討する。</li> </ul>